**パラグアイ内政・外交（２０１４年８月分）**

**概要**

**（１）内政**

●１４日，カルテス大統領は就任１年に際しての国民へのメッセージを発出し，汚職撲滅，雇用促進，税収増加，近隣諸国との外交関係修復等の実績を発表した。

●２６日，４月上旬にコンセプシオン県に所在するブラジル人家族が経営する農場に EPPメンバー約１５人が侵入し，同農場管理者の長男アルラン・フィック（１６歳）を人質に取り現場から逃走した事件に関し，同少年の父親であるアルシド・フィック氏が記者会見を開き，EPPメンバーに対し，同少年の早期解放を呼びかけた。

●２６日～２８日，公的教育機関職員・教員組合は全国規模のストライキを実施した。

●２７日，カルテス大統領は，市内バス運営関係者との協議の結果，右に対して補助金の支払いを認める大統領令を発出したことから，２８日に予定されていたストライキは実施されなかった。

**（２）外交**

●６日，サントス・コロンビア大統領就任式出席のためボゴタを訪問したカルテス大統領は，大統領府においてサントス大統領との会談を行い，両国の経済情勢，投資の機会等につき意見交換を行った。

●１３日，当地を訪問したフェルナンデス・アルゼンチン大統領はカルテス大統領との首脳会談を行うとともに，マリスカル・ロペス元大統領の家具の返還式に出席した。

●２８日，当地を訪問したブラジルのレベロ・スポーツ相がカルテス大統領を表敬し，２０１６年のリオ・オリンピックに向けた協力計画につき，意見交換を行った。

**１　内政**

**（１）カルテス政権１年間の実績**

●１４日，カルテス大統領は就任１年に際しての国民へのメッセージを発出し，カルテス政権１年目の実績を報告した。概要は以下の通り。

＜汚職撲滅＞

政府と議会の公務員の給料リストを公開した。不処罰をなくすため，汚職を犯した公務員を罰する新たな政令を実施した。縁故採用も処罰の対象とした。

＜インフラ整備＞

インフラ整備を強力に推進している。公共事業の透明性を改善したことにより，道路舗装工事はキロメートル当たり４０万ドル節約することに成功し，全工事で３４００万ドルの節約となった。また，官民連携法を導入した。

＜雇用＞

１０万件以上の新たな雇用を創設した。

＜税収＞

関税及び社会保障負担金の徴収額が史上最高となった。社会事業は，イタイプ二国間公団とヤシレタ二国間公団の協力を得た結果，１億１５００万ドルの節約を達成した。

＜治安＞

未解決の誘拐事件があるため，治安が改善されたと言うことは難しいものの，例えば，麻薬撲滅対策や警察による取り締まり強化は歴史的な成果を上げている。

＜外交＞

パラグアイを世界に開放し，国際社会の信頼を得たことにより，国債の海外での起債に成功した。これは年利６．１％，償還期間３０年の国債であるが，オファーに対して３倍もの申し込みがあった。

＜教育・保健＞

学校を水害地域から移転するとともに，生徒への教材配布を実施した。新たに救急車を１２５台配備した。

＜社会政策＞

農地改革のための土地確保が過去最大となった。例えば，ニャクンダウ土地無し農民運動のテント村の６００家族に３５００ｈａの土地を供与した。なお，供与された土地は，現在，畑作に活用されている。

●上記のカルテス政権１年目の実績の報告に対し，野党議員からは以下のような批判の声が聞かれた。

①場当たり的であり、確固とした政策がない。

②汚職撲滅や経済改革が実施されていない。

③歳出が増加しており，財政責任法を遵守していない。

④カルテス大統領のリーダーシップ不足により，警察が十分に機能しておらず，パラグアイ人民軍（ＥＰＰ）の活動が北部で一層活発化している。

⑤アルゼンチン及びブラジルに対する外交が弱腰である。

**（２）EPP（パラグアイ人民軍）による誘拐事件**

●２６日，４月上旬にコンセプシオン県に所在するブラジル人家族が経営する農場に EPPメンバー約１５人が侵入し，同農場管理者の長男アルラン・フィック（１６歳）を人質に取り現場から逃走した事件に関し，同少年の父親であるアルシド・フィック氏が記者会見を開き，EPPメンバーに対し，同少年の早期解放を呼びかけた。

●これに対し，デ・バルガス内相は，同少年の両親の苦痛を理解するとした上で，政府は引き続き同少年の解放を最優先事項として対応する旨述べた。

**（３）医療，教育及び市内バス運営関係者によるストライキ**

●２７日，カルテス大統領は，市内バス運営関係者との協議の結果，右に対して補助金の支払いを認める大統領令を発出したことから，２８日に予定されていたストライキは実施されなかった。この結果、大統領令により，以下の措置がとられることとなった。

①政府は，バス会社の新車両１台の購入に対し，３万米ドルを支払う。

②公式バス料金を，２，５００グアラニーと定めつつ，利用者の負担は２，４００グアラニーとし，差額を政府が負担する。

③電子バス料金支払システムの導入細則を検討する委員会を設置する等。

●２６日～２８日，公的教育機関職員・教員組合は全国規模のストライキを実施した。９月以降，２０１５年度予算案における教育関係者（教員，教育省職員を含む）の給与アップ（１０％）を要求するデモを実施する予定。

●８月に入り，公的医療関係者組合は政府に対し，医療現場で使用する消耗品及び医薬品の支給，２０１５年度の医療に係る予算の拡大，インフラ整備，医療政策の明確化及び公的医療機関職員の給与アップを要求するストライキを，救急部門以外で本格的に実施した。医療関係者は政府と協議を重ねてきているものの，政府からの明確な回答が得られていないことから，９月に時限ストライキ及び全面ストライキを実施する予定。

**２　外交**

**（１）カルテス大統領のコロンビア訪問**

＜サントス・コロンビア大統領との会談＞

●６日，サントス・コロンビア大統領就任式出席のためボゴタを訪問したカルテス大統領は，大統領府においてサントス大統領との会談を行い，両国の経済情勢，投資の機会等につき意見交換を行った。なお，同会談には，ロイサガ外相が同席した。

●同会談後，ロイサガ外相は，カルテス大統領がパラグアイの経済状況を説明し，これに対し，サントス大統領がパラグアイの金融システムの状況につき関心を示した旨述べた。また同外相は，サントス大統領が，信頼性が投資家達の関心を引きつけることに繋がるとした上で，コロンビアはその予見可能性及び信頼性により，投資の流れを生みだしている旨語ったと述べた。

＜企業家との会合＞

●７日，カルテス大統領は，ホテル・マリオットにおいて，メデジンを中心とした企業家との会談を行い，コロンビアの企業家のパラグアイにおける牧畜業，インフラ整備，花卉栽培に対する関心を確認した。

●同会談後，コック・在メデジン・パラグアイ名誉領事は，記者団に対し，コロンビア企業は，パラグアイへの投資に関心を示しており，いくつかの企業は対パラグアイ投資に向けた調査を行っている旨述べるとともに，先般，マリアノ・ロケ・アロンソ市で行われた農牧，工業，貿易等にかかるエクスポに参加した企業も多数存在する旨述べた。

●その他，カルテス大統領は，サンペール元コロンビア大統領との会談を実施した。

**（２）フェルナンデス・アルゼンチン大統領の当国訪問**

●１３日，当地を訪問したフェルナンデス・アルゼンチン大統領はカルテス大統領と首脳会談を行うとともに，マリスカル・ロペス元大統領の家具の返還式に出席した。なお，今次訪問には，ティメルマン外相，キシロフ経済相，デ・ビード企画相，トマス・ヤシレタ二国間公団アルゼンチン側総裁等が同行した。

●両首脳は，同首脳会談において，インフラ及び両国間の輸送手段の改善につき，アスンシオン首都圏とクロリンダとの間の新しい橋の建設の意向を確認するとともに，プエルト・ファルコンとクロリンダの間の物流と人の往来活性化のための必要措置の実施を両国の関係省庁に指示した。更に，ニェエンブク－プエルト・ベルメホ間，エスドラード－マジョール・オターニョ間，及びカンデラリア－カンピチュエロ間の橋の建設についても，検討を促進するよう指示した。

●フェルナンデス大統領は，首脳会談後の共同記者発表において，ヤシレタ二国間公団の負債問題につき，過去の経緯を踏まえ，パラグアイはアルゼンチンに感謝すべきであって，不満を言うべきではない旨述べるとともに，今重要なことは，残った作業や問題解決のために働くことである旨述べた。

●これに対し，カルテス大統領は，フェルナンデス大統領の当国訪問とマリスカル・ロペス元大統領の家具の返還について感謝するにとどめ，ヤシレタ二国間公団の負債問題には一切触れなかった。

●なお，同首脳会談のマージンにおいて，ロイサガ外相，ティメルマン外相及びウリバリ・エントレリオス州知事の間で，パラグアイによるエントレリオス州のイビクイ港の施設の利用に関する協定の署名が行われた。同協定は，燃料及び穀物輸送のためのターミナルの建設を始めとする運輸統合の強化を目的としている。

**（３）レベロ・ブラジルスポーツ相のカルテス大統領表敬**

●２８日，当地を訪問したブラジルのレベロ・スポーツ相がカルテス大統領を表敬し，２０１６年のリオ・オリンピックに向けた協力計画につき，意見交換を行った。同席したペッチ・スポーツ庁長官は，同会談後記者団に対し，ブラジルが有する大規模イベントの開催国としての経験を活用したい旨述べた。これに対し，レベロ・スポーツ相は，今後協力を進めていくために，パラグアイ・スポーツ庁だけでなく，パラグアイ・オリンピック委員会，各競技の協会などとともに，作業グループを創設したい旨述べた。

**３　要人往来**

**（１）来訪**

●１３日，フェルナンデス・アルゼンチン大統領（カルテス大統領との会談等）

●２８日，レベロ・ブラジル・スポーツ相（カルテス大統領表敬等）

**（２）往訪**

●３日～６日，バイアルディ女性相，アルゼンチン訪問（女性関係会合出席）

●６日～７日，カルテス大統領等，コロンビア訪問（大統領就任式参列）

●６日～８日，レイテ商工相，ウルグアイ訪問（ｳﾙｸﾞｱｲ･ﾊﾟﾗｸﾞｱｲ商工会議所との会合）

●１７日～２１日，バリオス厚生相，米国訪問（汎米保健機構加盟国会議出席）

●１８日～２１日，アベド司法相，ワシントン訪問（ﾐﾚﾆｱﾑ･ﾁｬﾚﾝｼﾞ公社への働きかけ）

●２０日～２２日，ロイサガ外相，ウルグアイ訪問（UNASUR関係会合出席）

●２７日～８月１日，アベド司法相，ブラジル訪問（司法関係国際会議出席）(了)